

～「不易流行」でバトンをつなぐ～



毎年技能員が愛情を込めて育てているサクラソウが今年も花を咲かせ始め、春の兆しを感じます。6年生の卒業の日まで約1か月。各教室にはカウントダウンカレンダーが掲示される中、5年生にしっかりバトンを渡そうとする6年生の姿が見られます。委員会活動もその一つです。

学校では高学年がより良い学校生活のために毎月1回委員会活動を行っています。今年度も残り2回となりましたが、この1年間の取組は工夫された素晴らしいものでした。中でも、放送委員会による「ハッピーコーナー」は私も楽しみな時間の一つです。これは、昇降口に設置した「ハッピーボックス」に寄せられたハッピーな出来事を放送で紹介し、幸せをおすそわけするという取組です。一部を紹介します。

- ・ふれあい活動のおかげで、上級生や下級生と友達になり、仲良くなれました。その上、人見知りもなくなりました。6年生のみなさん、ありがとうございます。
- ・委員会の人ががんばってくれて、毎日の学校生活がとても楽しくて学校に来たくなくなります。
- ・あいさつ運動のおかげで、自分からあいさつができるようになりました。
- ・きょうしつとろうかがきれいになってハッピーです。
- ・まえはぎゅうにゆうがのめなかったけど、みんながおうえんしてくれたおかげでのめるようになりました。とてもうれしかったです。

「不易流行」という言葉があります。大切なものを残しつつ、新しい発想で学校を支え、全校に笑顔の花を咲かせてくれる6年生に、心から拍手を送るとともに、卒業まで力を発揮できるように支えていきたいと思います。また、6年生からしっかりバトンを受け取った5年生を職員皆で見守り、応援していきたいと思います。

保護者の皆様には引き続き、教育活動へのご理解とご協力をどうぞよろしく願いいたします。

校長